様式第５号

事務事業評価表（補助金等）

評価対象年度	平成 26 年度
１次評価日（主幹等）	27 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	27 年 3 月 31 日

１ 事業名	出早公園かたくり祭り負担金	コード	23113

２ 担当部課	部等	産業振興部	課等	商業観光課	作成者	小口康生

３ 事業概要				
目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
	政策	産業の振興	施策	観光の振興
	事務事業	観光情報提供事業		
予算科目		観光宣伝費	業務委託	全部委託
実施義務		あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
根拠法令等				

●事業の内容（DO）

４ 補助等の内容

＊補助金、負担金、交付金の具体的な内容

① 性質	負担金	② 期間	年度 ～ 年度
補助金の種別	イベント等補助	③ 対象	その他

④ 制度の内容	特になし
⑤ 積算方法	運営に関わる経費の５０％以下
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	地域の活性化と経済波及効果

５ 補助等の実績

区分		24年度	25年度	26年度	27年度(予算)
① 件数（件）					
予算件数		1	1	1	1
実際の支出件数		1	1	1	
執行率		100.0%	100.0%	100.0%	
② 金額（円）					
予算額		55,000	55,000	55,000	55,000
財源内訳	一般財源	55,000	55,000	55,000	55,000
	特定財源	0	0	0	0
＊特定財源（負担割合）の説明					
実際の支出金額		55,000	55,000	55,000	
予算執行率		100.0%	100.0%	100.0%	
支出額の前年度比			100.0%	100.0%	

③ 26年度の交付先

愛楓会

●事業の評価（CHECK）

6 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性（１次判定）

評価項目	はい	いいえ	
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1		5
② 補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1		4
③ 全ての対象者に交付している。		0	
④ 補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。	1		
⑤ 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。	1		

⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答

妥当性（２次判定）　高い

⑥ 補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。	1		5
⑦ 補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。	1		9
⑧ 補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。	1		
⑨ 補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。	1		
⑩ 補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、使途を検証している。	1		

7 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）が向上しているか。

有効性　高い

評価項目	はい	いいえ
① この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。	1	
② 補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1	
③ 他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1	
⑤ この事業の利用者が増加した。　補助・交付件数　前年度比　100.0%	1	

●改善の内容（ACTION）

8 具体的な課題と改善

課題

（補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること）

アクセス道路及び駐車場の整備
園内の環境整備

改善方法

（上記の課題をふまえて28年度以降に実施する、具体的な改善の内容）

アクセス道路については、土木課にて整備予定。また、園内環境整備については管理者である土木課と協議を行う。

改善開始時期	H27.4

●次年度の計画（PLAN）

9 次年度の方針	継続して実施